

## 惑星観測専用ハレアカラ天文台の新設

## New Haleakala Observatory Dedicated to Observation of Planets

# 石橋 之宏 [1]; 岡野 章一 [2]; 鍵谷 将人 [3]; 三澤 浩昭 [3]

# Yukihiro Ishibashi[1]; Shoichi Okano[2]; Masato Kagitani[3]; Hiroaki Misawa[3]

[1] 東北大・理; [2] 東北大・理; [3] 東北大・理・惑星プラズマ大気

[1] Tohoku Univ.; [2] PPARC, Tohoku Univ.; [3] PPARC, Tohoku Univ.

<http://pparc.geophys.tohoku.ac.jp/>

惑星の大気圏やプラズマ圏の環境とそこで生じている現象を光学観測によって解明するために、東北大学は東北大学惑星圏飯館観測所（福島県相馬郡飯館村）における定常観測に加えて、米国ハワイ州マウイ島にあるハワイ大学ハレアカラ観測所においても、これまで年一程度定期的に集中観測を行ってきた。この集中観測は飯館観測所での観測結果と相補的であり、大きな成果を上げてきた。

惑星の光学観測に基づく研究をさらに進展させるには、従来よりも高い時間・空間分解能の詳細な観測を継続的に行う必要がある。その実現のためには、晴天率が高く、そして観測時の障害となる地球大気の影響がより少ない地点に新たな観測拠点を設ける必要がある。そこで、我々はこれまで数回にわたって実施した観測で良質なデータを取得することに成功しているハレアカラ観測所を適地として選び、新たに惑星観測専用天文台を設置することにした。新天文台の建設は2006年3月に行われる予定である。新ハレアカラ天文台は、2.6m ステンレス電動ドーム内にドイツ式赤道儀に搭載された口径40cm シュミット・カセグレン式望遠鏡（F10）が収納される。

本講演では、設置した望遠鏡の状況と初期調整の結果を報告する予定である。この新ハレアカラ天文台での惑星観測の実施を希望される方は我々にコンタクトされたい。